

シルバー流山

第198号 平成30年12月15日

発行 公益社団法人 流山市シルバー人材センター

〒270-0114 流山市東初石3-103-18

URL: <http://www.sjc.ne.jp/nagareyama/>

TEL 04-7155-3669

FAX 04-7154-1839

E-mail: nagareyama@sjc.ne.jp

12

平成30年度各地区懇談会を開催！ 今年の共通テーマは「シルバーでの楽しい過ごし方-その2」

各地区の懇談会が開催されました。実施状況は次の通りです。

地区	開催日	会場	特記事項	参加者
1・3・4	11/11 (日)	江戸川台 福祉会館	「こころとからだの元気とは」、日頃のこころとからだの健康法、生きがい等、「笑ってくつろぐ落語会」あふ楽さん、山助さん	36名
2	11/10 (土)	森の倶楽部	職場紹介と余暇等の活用、「今後の人生を楽しく、また、近くに仲間づくりをして有意義な生活を楽しむ」	49名
5・6	10/26 (金)	シルバー 人材センター	「残りの人生を楽しく生きる」 講師 横田理事 「歌声広場」(カラオケ)	33名
7	10/27 (土)	平和台 福祉会館	「シルバー会員になって楽しいことは」、「シルバーでもっと楽しく過ごすにはどうしたらよいか」、「シルバーでもし出来るならやってみたいことは」	26名
8	11/16 (金)	野々下 福祉会館	「仕事の満足度、生きがい、仲間づくり」	35名
9	10/21 (日)	南流山 福祉会館	「シルバーの現状と課題を深く掘り下げる」、中長期計画(平成27年度～31年度)、平成30年度事業計画と予算、会員による落語	34名
10	11/14 (水)	名都借 福祉会館	「シルバーでの楽しい過ごし方」について懇親しながら意見交換	20名

各地区懇談会で前田会長から「各就業場所で実績を上げていただいていることへの感謝、3施設の指定管理事業の内示報告、女性会員の拡大と就業場所確保の必要性、善良な市民・善良なシルバー会員であってほしい、健康管理に注意してほしい」等を内容とした挨拶がありました。また、海老原常務理事から「流山市シルバー人材センターの現状と課題、中長期計画」についての報告がありました。



各地区ともメインテーマである「シルバーでの楽しい過ごし方」を基本に、会員になって良かったこと、楽しいこと、仲間づくり等の体験談や、落語・ビンゴゲーム等も交えて、お茶・ビール・弁当を飲食しながら、会員同士の親睦を深めました。

今後も会員同士が仲良く・明るく・楽しくシルバー生活が過ごれるよう願っています。
(事務局・記)

『女性会員のつどい』を開催 12月4日(火)

当センター2階で、女性の会員増強・就業開拓を目的とした「女性会員のつどい」を開催しました。最初に市高齢者支援課石井課長の講話を聞いた後、この会の主旨説明・推進組織・事例紹介をしました。続いて、女性会員だけの「おしゃべり会」を行い、日頃思っていること、どうすれば仲間づくりができるか、就業が増やせるか等を自由に話し合いました。19名の参加があり、「参加して良かった」、「勉強になった」、「話しだけに終わらせずに実現できるように」との意見が出されました。(岡本 順・記)



高めよう自主・自立・共働・共助の基本理念

理事会

活動報告

『平成30年度第8回理事会』 11月12日(月)

【報告事項】

- ① 平成30年9月の当センターの運営状況は、会員数が前年比33名増(男性27名増・女性6名増)、事業実績累計は前年比1.2%減、就業率は73.8%で前年比4.0%減(派遣人員24名を含めると3.4%減)。
- ② 地区懇談会実施状況について、9地区、5・6地区、7地区、2地区、1・3・4地区の代表から報告。
- ③ 接遇力向上研修会を施設運営管理の担当会員対象に、11月30日、12月3日の両日それぞれ午前・午後に開催。
- ④ 県シ連(千葉県シルバー人材センター連合会)主催の介護予防・日常生活支援スタッフ育成講習会を11月20日に開催。
- ⑤ 12月4日開催の「女性会員のつどい」の準備状況。
- ⑥ 7月25日の千葉県公益認定等審議会による、当センターに対する立入検査の実施結果の報告。
- ⑦ 3か所の就業場所において会員の不祥事が発生したとの報告。今後コンプライアンスの厳守と緊張感を持って仕事をするようにとの要請。
- ⑧ その他、3指定管理事業仮協定、チェーンソー取扱い技能講習会、市民まつり、就業面談、会費未納者、中長期計画上期、会計監査(中間)、県シ連安全就業巡回パトロール等の報告。

【協議事項】

- ① 10月の新入会員3名(男性1名・女性2名)の承認と退会会員8名(男性8名)の報告。
- ② 平成31年度定時総会は平成31年6月16日(日)に初石公民館で開催が決定、そのための準備日程の協議。
- ③ 当センター設立35周年記念行事について、その内容を事業運営推進委員会で検討することを了承。

(池内 弘行・記)

『安全就業対策委員会』 11月15日(木)

「安全標語」と「ヒヤリハット体験談」の応募総数は、安全標語64点(応募者20名)、ヒヤリハット体験談10点(応募者6名)と過去最高の応募があった。

当委員会において、応募の中から優秀作品として、安全標語6点(その内、1点は最優秀作品)、ヒヤリハット1点を選考した(詳細は4頁に)。

(市毛 和男・記)

『適正就業委員会』 11月9日(金)・12日(月)

複数の就業場所で問題発生(報告)があり、2か所の就業場所の巡視と班長会議でのヒアリングを行った。いずれも作業手順や就業規約に違反をしたものであり、利用者からの通報もあったことから、重大問題として就業適正審査委員会の開催にまで至った。各事案は会員相互の良好なコミュニケーションを維持することで防止できたものと思われる。

(岡野 三雄・記)

『館長等会議』 11月19日(月)

今回の会議は平和台福祉会館で開催した。①一人のみでの施設利用の現状報告を各館から受け、12月20日までに事務局が集約すること ②月次報告の様式統一化の検討を継続 ③長期就業者の異動準備作業の進捗 ④接遇力向上研修会の実施案内 ⑤各館からの運営状況等について協議した。

(岡野 三雄・記)

『接遇力向上研修会』 11月30日(金)午前・午後、12月3日(月)午前・午後の計4回



当センター2階で、アップグロス社の唐沢明佳講師を招いて接遇力向上のための研修会が開催された。第一印象や笑顔の大切さといった接遇の基本、情報管理の徹底、ハラスメント、および公共施設管理員トラブル事例のグループ討議等、有意義な2時間でした。利用者に接する機会が多い、主に福祉会館等で就労している会員をはじめ延べ107名が参加し、これまで複数回、同様な研修を受けた方々も改めて、良い接遇・悪い接遇を認識するための良い機会となった。(事務局・記)

『介護予防・日常生活支援スタッフ育成講習(県シ連主催)』 11月20日(火)

当センター2階で開催。この講習は、家庭清掃(生活支援)のコツやマナーを学び、やりがいを高めようとするもの。講師は、女性活躍推進コンサルタントの「響城れい」さんです。5名の参加者からは、「掃除に対する考え方が変わりました」「新しい分野を知ることが出来て良かった」等の感想が聞かれ、講師のユーモアあふれる講義であつという間の一日でした。

(事務局・記)



刈払い機 ネットの使用 怠るな

友の会だより

「流山シルバー友の会」は会員相互の共助と親睦を目的としています。

歌声広場クリスマス会のご案内 12月21日(金) 13:30~16:00

人材センター2F 合唱・カラオケ・競馬ゲーム 参加費無料 予約不要
友の会・当人材センター会員および元会員 40名程度 ★車でのお来場は不可

紅葉の栃木路へ宿泊旅行 11月13日(火)～14日(水)

常磐道経由で紅葉の山並みを満喫しながらバスでま
ず宇都宮へ。名物の餃子を味わいました。さらに、那須
烏山市内の造り酒屋の「島崎酒造」へ。各酒の試飲をし
た後、酒の保存をする洞窟へ案内されました。戦時中に
戦車を作るために洞窟を掘ったのですが、終戦で酒の保
存蔵になったようです。100m×60mの敷地に5万本の
酒が保存され熟成後販売しています。洞窟は温度・湿度
を一定に保つので美味しいお酒ができるとのこと。天
井には蝙蝠(こうもり)もぶらさがっています。同市
内の宿泊先「大金温泉グランドホテル」は、豪華客船の
形をした5階建てで宴会も大広間を貸し切りで食事と
カラオケを楽しみました。翌14日は快晴。竜門の滝(迫
力のある滝)・ふるさと民芸館(烏山の歴史)を見学し、
益子焼センターで陶芸品の鑑賞と食事をし、大前(おおさき)神社を参詣して帰路に。帰りのバス内では、ビン
ゴゲームやカラオケで楽しみ江戸川台に午後4時に到着しました。今年は28名の参加でしたが、出発から帰りま
でゆったりとした行程でのんびりと楽しむことができました。



今回は、もっとたくさんの方の参加で楽しみたいものです。

(参加者 加藤 吉彦・記)

同 好 会	ゴルフ同好会	12月20日(木) 8:30 スタート 3月14日(木) 8:30 スタート(第2週)	野田市PG・ひばりコース
	パソコン同好会	12月18日(火) 14:00～ 1月22日(火) 14:00～(第4週)	コミュニティプラザ
	写真同好会	12月25日(火) 13:30～	コミュニティプラザ

(お知らせ: 会報11月号記載の同好会開催日に誤りがありました。ご迷惑をおかけした関係各位にお詫びいたします)



『第6回西深井福祉会館まつり』を開催 11月4日(日)

生バンド演奏に始まり、日本舞踊・オカリナ演奏・和太鼓演奏、さらにフラダンス
と多彩な演目で熱演が続き、会場は大変盛り上がりしました。また、台詞入り詩吟では
モンチッチの子分を背負い赤城山と別れる国定忠治が出現したり、初めての南京玉す
だれの演舞がありと、会場を多に沸かせました。また廊下での刺し子の展示も評判
が良く、先生も大喜びでした。

(青柳 幸男、伊藤 敏雄・記)



『南福祉会館で「第6回音楽祭」を開催 11月11日(日)

会館利用者による1年間の活動成果を発表する場として、6サークルが参
加しました。ハワイアン演奏・オカリナ演奏・ハンドベル演奏や合唱・民謡・
詩吟、さらに踊りと大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごすと共に、来場
者間の交流が図れました。

(石橋 建二・記)



『南流山福祉会館まつり』を開催 11月25日(日)

大広間では約400名の参加による利用者発表会が行われ、日頃当会館を利用
されている皆様が、舞踊・カラオケ・軽体操等の努力の成果を披露しました。
体育室では、周辺の幼稚園・保育園へのチラシ配布の効果もあって、約400名
の親子が走ったり・輪投げ・魚釣りゲーム・ボール遊び等で楽しい時を過ごし
ました。今後も利用者の皆様のご意見・ご希望を真摯に受け止め、充実した
会館となるべく職員一丸となって努力して行きます。

(田代 正志・記)

『森の倶楽部で防災訓練を実施』 10月30日(火)

当会員・職員および別館で飲食業を営んでいる「にっこり」の職員が、防災訓練(避難・
通報・消火)を実施しました。流山消防本部と(株)永和防災の指導のもと、火災通報装置
や消火器の取扱い、およびAEDの取扱いについても講習を受けました。この訓練を通し
て、緊急時に何を最優先に行動すべきか等、日頃からの心構えの必要性を再確認しました。

(眞田 朝光・記)



まあいいか 思う心が 事故のもと

事務局だより

TEL 7155-3669

FAX 7154-1839

会員数：平成30年11月30日現在

計	771	男性	613	女性	158
---	-----	----	-----	----	-----

日	曜	12月の予定
16	日	
17	月	自転車駐車場班長会議 入会登録説明会（シルバー人材センター）
18	火	入会登録説明会（南流山センター）
19	水	
20	木	配分金支払日 学習教室
21	金	
22	土	学習教室 英語学習教室クリスマスパーティー
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	植栽グループ長会議
26	水	
27	木	
28	金	仕事納め
29	土	
30	日	
31	月	

日	曜	1月の予定
1	火	元日
2	水	
3	木	
4	金	仕事始め 広報編集委員会
5	土	学習教室
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	事業運営推進委員会
10	木	安全就業対策委員会 学習教室
11	金	
12	土	学習教室
13	日	
14	月	成人の日
15	火	理事会 「シルバー流山」発行

◎新会員のご紹介（敬称略） ○数字は地区名

②酒井 昭二 ⑦大野 実 ⑦松村 一雄 ⑦鈴木 かおる ⑩小関 賢一

◎今年度の安全標語を決定！

次の安全標語が入選になりました。毎月の会報標語欄に順次掲載します。

最優秀	事故防止 過信と 自信は 紙一重	6地区	都築 宣治
入 選	安全は 基本遵守を 百万回！！	5地区	加藤 吉彦
	「これでよし」指差し呼称で安全確認	1地区	溝上 勝
	事故防止、再度確認、心に安全	5地区	上野 清美
	あの ヒヤリ 今日も生かして ガッチリ安全	10地区	春山 茂明
	安全は人にたよらず自分から	9地区	渡辺 正義

【ヒヤリハット体験】 2地区 青柳 幸男

「アッ アッー！」自転車で左の小道に曲ろうと思ったが、ハンドルが効かない。対向車からは、その細い道に入ろうとウィンカーを出しながら車が曲ってきた。後からは次々と直進車が。力いっぱいハンドルを切っても全く動かない。真っ直ぐ行くしかない。事故が頭をよぎったが、咄嗟に左側の壁に体ごと倒れた。ここまで一瞬の出来事。車との接触もなく、シャツが少し破れて腕のすり傷から血が出ていたが、大事にならなくてよかった。原因は朝には降っていた雨がやんだため、傘を自転車のハンドルに引っ掛けていたため、ハンドルが切れなくなった。高齢者の自動車事故が多いが、もう少しで私も新聞の記事になるところであった。みんなで気を付けましょう。

◎冬の交通安全運動の実施 【スローガン】 ～ その一杯 愛車も走る凶器に 早変わり ～

12月10日から19日までは、冬の全国交通安全運動実施期間です。交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付けることにより交通事故を防止しましょう。

編 集 後 記

小規模デイケアで、時々ボランティアの「歌の広場」を開いている。声を出して唄う人、口だけ動いている人、表情がなく聞いているのかいなのか分らない人、じっと椅子にうずくまっている人等、お年寄りの反応はいろいろです。始めた頃は元気で唄っていたお年寄りも、年月が過ぎると少しずつ唄えなくなってくる。その時は楽しんでいのかどうか分らなくても、後で「楽しかった」という話しをしていたと職員から聞いて、やってきて良かったと思っている。昔の歌は認知症予防に効果があるという。シルバーの歌好きが集まり「シルバー歌謡団」を作って、ボランティアで高齢者施設を廻って、昭和の歌を唄って聞かせたら喜んでもらえると思う。皆さん歌謡団を結成しませんか。

<編集委員>

横田清四郎 池内弘行
南石高秀 菅原正敏
海老原廣雄

昔の歌は認知症予防に効果があるという。シルバーの歌好きが集まり「シルバー歌謡団」を作って、ボランティアで高齢者施設を廻って、昭和の歌を唄って聞かせたら喜んでもらえると思う。皆さん歌謡団を結成しませんか。
(横田 清四郎・記)

安全は焦るな！ おごるな！ 無理するな！